

鍼灸等研究費研究成果 要約	
研究課題名	医中誌 Web がない書誌情報を鍼灸文献データベース (JACLiD) に収載するための調査研究 (2)
班長 氏名/所属機関	大川祐世 森ノ宮医療大学鍼灸情報センター、(公社) 全日本鍼灸学会
班員 氏名/所属機関	福田文彦 明治国際医療大学、(公社) 全日本鍼灸学会 東郷俊宏 未来工学研究所、(公社) 全日本鍼灸学会 古瀬暢達 大阪府大阪南視覚支援学校、(公社) 全日本鍼灸学会 山下 仁 森ノ宮医療大学大学院、(公社) 全日本鍼灸学会
成果	
1. 目的	<p>JACLiD は、わが国の鍼灸関連の学術論文の書誌情報を収集して検索可能にし、また、国内外の主要な鍼灸関連論文を紹介することである。さらに、様々な日本鍼灸の研究、解説、考察、紹介、議論等が行われている証拠保持の役割もある。</p> <p>本研究の目的は、医中誌 Web には収載されない鍼灸関連灰色文献を収集し、書誌情報を抽出すること、また文献収集、文献評価などの作業を通じて将来 JACLiD を維持管理し発展させる人材育成を行うことである。</p>
2. 内容	<p>1) 灰色文献と有用な Web サイトの収集・選定・情報抽出・収載</p> <p>医中誌 Web の収載範囲外の鍼灸関連文献を所蔵している施設に許可を得たうえでコピーまたは撮影し、収載意義のある文献を選定し、書誌情報を抽出して JACLiD に収載できる形式にしたファイルを作成した。</p> <p>2) 関連セミナー・シンポジウムにおける情報収集</p> <p>コクランレビューワークショップ、ビッグデータに関するシンポジウム、AMED 委託研究公開講演会に参加し、JACLiD の維持管理に必要な情報収集および技能の習得を行った。</p> <p>3) JACLiD プロモーション活動</p> <p>「鍼灸文献情報活用セミナー」を主催し、JACLiD の概要、利用方法、今後の展望などに関してプレゼンを行い、認知度を上げるとともに利用を促した。また同時に RCT 文献の批判的吟味作業を通じて将来の JACLiD 作業協力者の育成につなげた。</p>
3. 成果/考察	<p>1) 灰色文献と有用な Web サイトの収集・選定・情報抽出・収載</p> <p>前年度研究において収集されていた文献と合わせて 1,023 編の灰色文献の書誌情報を抽出し、JACLiD に追加収載した。</p> <p>2) 関連セミナー・シンポジウムにおける情報収集</p> <p>JACLiD は従来通り、広範な鍼灸文献に関する情報収集サポート、日本鍼灸史の証拠保存などの役割を果たすと同時に、鍼灸領域における EBM 実践の基盤となるべく、エビデンス情報の要約、質的評価を加えた文献情報の提供を目指していく必要がある。そのための情報収集および技能の習得ができた。</p> <p>3) JACLiD プロモーション活動</p> <p>「鍼灸文献情報活用セミナー」は平日開催となり、参加人数は多くなかったが、教育機関関係者だけでなく開業鍼灸師やその他の職種の参加があり、幅広く JACLiD の広報活動ができた。また若手研究者を招聘し講演、文献評価作業を主導してもらうことで将来、JACLiD を担う人材の育成にも繋げることができた。</p>